

研究概要

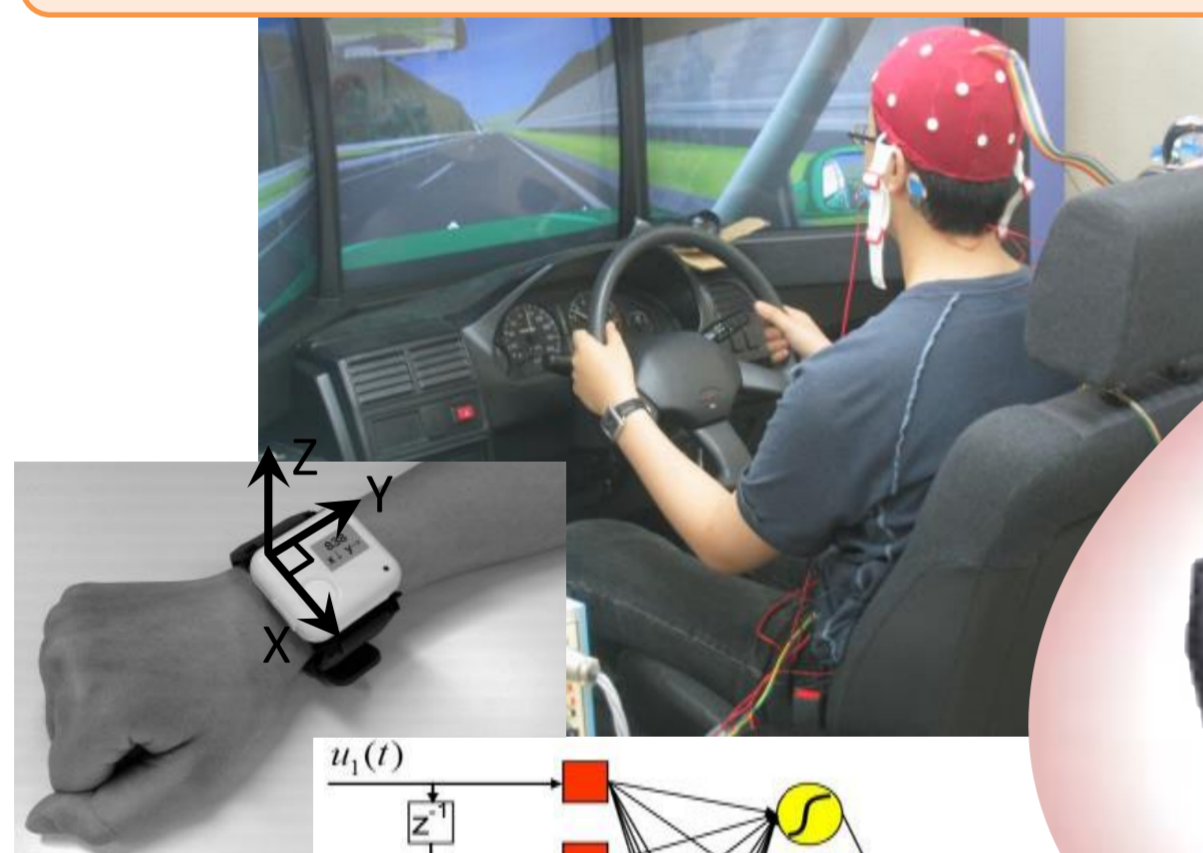
ヒューマンエラーによる交通事故防止を目的とし、ドライバの運転操作情報や心拍等の生理情報を計測し、それら種々のデータを総合的に判断することでドライバの現在の状態を推定・評価するシステムを研究・開発しています

Point

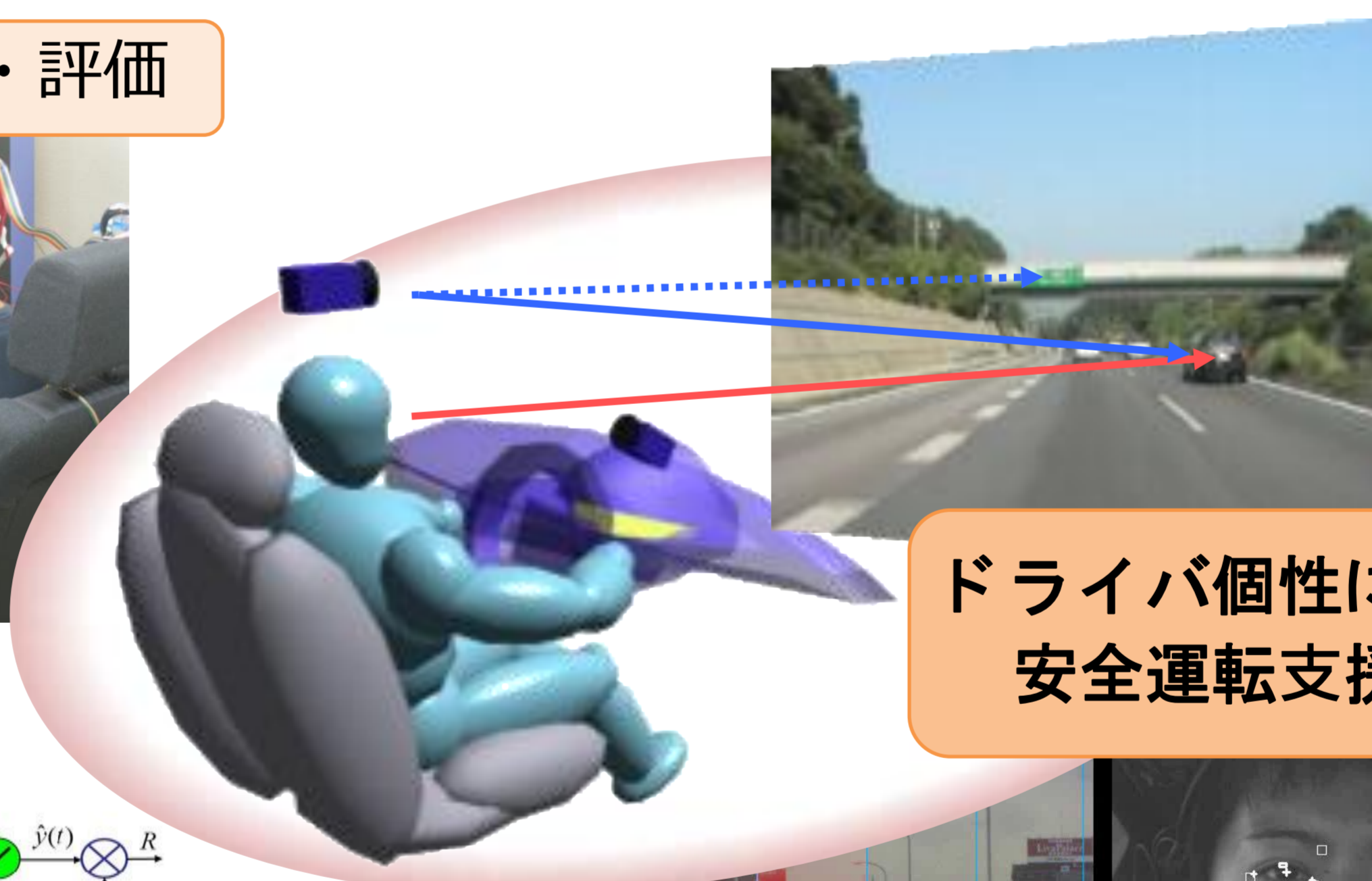
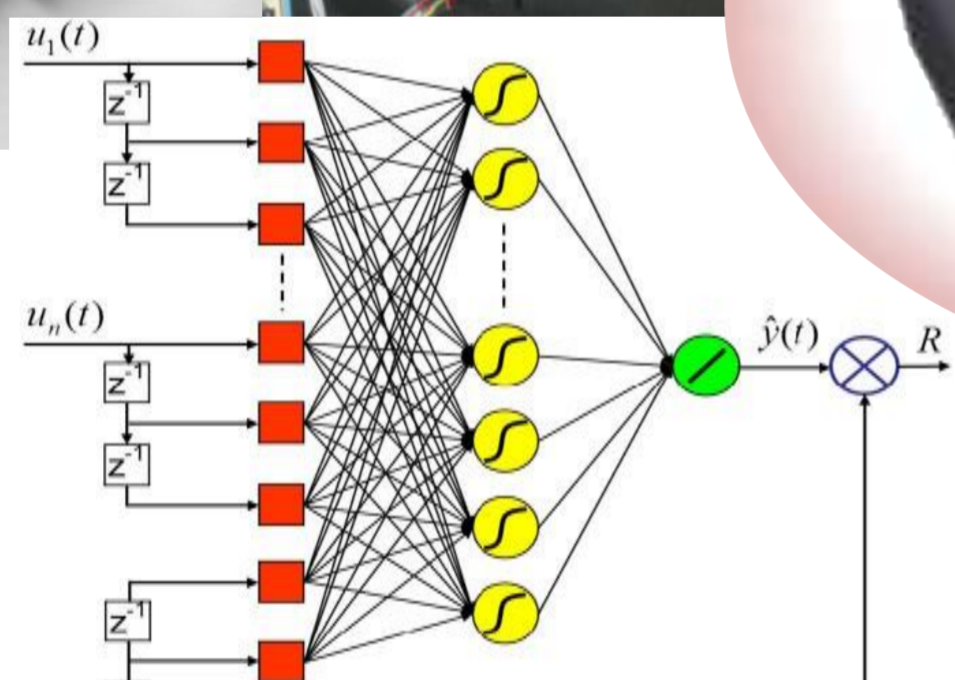
- 信号・画像処理技術を用いた人の行動計測
- センサデータに基づく個人特性の抽出・分類
- 多変量データ分析技術を用いた人の状態推定

研究段階：基礎研究

ドライバの行動計測・評価



ドライバ特性のモデル化



ドライバ個性に着目した安全運転支援の実現



交通環境の認識・評価

- ドライバの行動計測では、装着型センサを用いた身体動作の計測や顔画像を用いた表情変化検出、眼球運動の計測技術等を独自開発
- ドライバの状態推定・評価では、直接計測が困難なドライバの眠気や注意力の低下状態の推定技術を独自開発
- モビリティ分野のみならず、広くヒューマンエラー防止に貢献できる可能性